

知的財産 支援活動だより

特集 2026年度「弁理士の日 記念事業」

関東会



関西会



トピックス

8月までの支援活動（関東会・東海会・関西会・四国会・九州会）

目次

特集 2026年度「弁理士の日 記念事業」

2026年度「弁理士の日」記念事業 弁理士の日記念イベント2026

「ちば、ちざい探検隊 ーひらめきギョー! 発明大作戦ー」

関東会 弁理士の日記念イベント実行 WG WG 長 相田悟 4

2026年度「弁理士の日」記念事業「知財ふれあいフェスティバル」

関西会 知財普及・支援委員会 委員長 山本雅之 7
副委員長 中村忠則

8月までの支援活動

関東会

「知的財産特別授業」ひたちなか少年少女発明クラブ

関東会 知財創造教育支援委員会 萩原剛志 13

「知的財産特別授業」浅間台小学校放課後キッズクラブ

関東会 知財創造教育支援委員会 大久保真己 14

東海会

「知的財産支援フォーラム2026in長野」

東海会 長野県地区会 地区会長 岩垂裕司 15

「知的財産出前授業」碧南市ものづくりセンターとの共催

東海会 教育機関支援機構 副機構長 山本竜也 17

「第1回 Nagoya Musubu Tech Lab セミナー」

東海会 知的財産支援委員会 委員 笠井浩平 19

瀬戸信用金庫・日本弁理士会東海会主催 職員・顧客向け講座

東海会 知財金融対応委員会 委員長 加藤大輝 20
委員 奥村徹

土岐市教育研究所「教職員向けサマーセミナー」

東海会 岐阜県地区会 運営委員 岡本茂樹 21

土岐市教育研究所「夏休みものづくり講座」

東海会 岐阜県地区会 運営委員 岡本茂樹 22

関西会

2026年度「学びのメニューフェア」

関西会 知財普及・支援委員会 古澤寛 24

「知的財産特別授業」大阪府立長尾高等学校

関西会 知的財産特別授業講師 吉永元貴 25

「知的財産特別授業」滝川第二中学校

関西会 知的財産特別授業講師 古澤寛 26

「知的財産特別授業」大阪府立東住吉総合高等学校

関西会 知的財産特別授業講師 向井秀一 27

2026年度 MOBIO 知財セミナー（第1回）

関西会 知財普及・支援委員会 西田直樹 28

知財基礎講座（第1回）

関西会 京都地区会 副地区会長 片倉等 29

2026年度「弁理士の日」記念事業（奈良）

関西会 奈良地区会 副地区会長 門田康 30

2026年度「弁理士の日」記念事業（兵庫）

関西会 兵庫地区会 運営委員 西山玄一郎 31

四国会

「知的財産特別授業」愛媛県立大洲高等学校

四国会 相原正 32

「2026年 高校生向け知的財産セミナー」愛媛県立小松高等学校

四国会 知的財産支援委員会 木村仁志 33

九州会

2026年 九州経済産業局こどもデー

委員 遠坂啓太 34

2. 支援活動一覧表（9月分）

35

本だよりはWebでも閲覧できます。日本弁理士会ホームページ（<https://www.jpaa.or.jp/>）



2026年度「弁理士の日 記念事業」(関東会)

2026年度「弁理士の日」記念事業 弁理士の日記念イベント2026

「ちば、ちざい探検隊 ーひらめきギョ! 発明大作戦ー」

関東会 弁理士の日記念イベント実行 WG WG 長 相田 悟

1. はじめに

今年は「ちば、ちざい探検隊 ーひらめきギョ! 発明大作戦ー」をテーマに、子どもから大人までが楽しみつつ、本イベントを通じて特許や商標、意匠といった知財の重要性について理解を深め、弁理士の役割について知ってもらうことを目的として企画・準備に取り組みました。

ステージでのご当地ヒーローショー、WG メンバーの発案による知財クイズビンゴ大会及びオリジナル芳香剤作り、発明工作、並びに知財紹介パネルの展示コーナー等の全ての企画が好評でした。

会場で行ったアンケート調査では、80%以上の方が本イベントに満足したと回答しました。また、知財及び弁理士への理解度を尋ねる質問では、本イベントに参加する前は、ほとんど知らなかったとの回答がいずれも約40%であったのに対し、イベントに参加することで、約80%の方が理解が深まったと回答しており、本イベントを通じて、知財及び弁理士に対する認知度向上及び理解促進に貢献できたと思います。

千葉委員会の委員を中心に神奈川、茨城、東京、群馬の各都県委員会及び広報委員会の委員から構成された WG メンバーの皆さんの尽力により、無事執り行うことができました。

2. 開催概要

1. 日 時：2026年 7月20日(月・祝) 10:30～16:30

2. 場 所：イオンモール津田沼 North

3. 対 象：約550名

4. 内 容：

プログラム <ステージ> 鳳神ヤツルギ & もぐもぐべじわー などのステージショー & 撮影会
知財クイズビンゴ大会
オリジナル芳香剤作り体験
電子紙芝居
<体 験> 発明工作
<展 示> 県内企業、団体の知的財産紹介

3. イベントプログラム概要

①ステージ

- ・ 鳳神ヤツルギ & もぐもぐべじわー などのステージショー & 撮影会 (2ステージ)
- ・ 知財クイズビンゴ大会 (2ステージ)
- ・ 電子紙芝居 (2ステージ)
- ・ オリジナル芳香剤作り (1ステージ)

②体験

- ・ 発明工作 片手で持てるかな?

③展示

- ・ パネル展示

4. ステージ企画詳細

（４－１）鳳神ヤツルギ & もぐもぐべじわーどとのステージショー & 撮影会

鳳神ヤツルギは、悪と戦う千葉県木更津市のご当地ヒーローです。今回は、地域団体商標として登録されている「船橋にんじん」の評判にタダ乗りしようと企む悪者を倒し、野菜を愛するもぐもぐべじわーどとのキャラクター達を守るため、弁理士と一緒に戦ってくれました。

ステージショー終了後の撮影会では、キャラクター達との撮影を希望する来場者の長い列ができました。



（４－２）知財クイズビンゴ大会

知財クイズビンゴとは、知財に関するクイズを出題し、正解者だけがビンゴカードの指定された数字を空けられる新しいゲームです。

参加者は、登壇した弁理士と総合司会との掛け合いの中で出されるヒント、及び日本弁理士会のマスコットキャラクターはっぴょんと習志野市のマスコットキャラクターナラシド♪のリアクションを参考に、楽しそうに正解を見つけっていました。

見事ビンゴを達成した参加者には、イベントオリジナルステッカーと、日本弁理士会のノベルティグッズがプレゼントされました。



（４－３）電子紙芝居

ステージ転換の時間を使って、日本弁理士会の電子紙芝居コンテンツ、パン職人レオ君の物語を上映しました。

次のステージイベントの開始を待つ来場者に対して、特許権の効力を説明する良い機会になりました。



（４－４）オリジナル芳香剤作り

千葉工業大学の笠嶋義夫教授に、吸水性樹脂を用いたオリジナル芳香剤の作成をご指導いただきました。

笠嶋先生及びアシスタントの学生さんによる、手際の良いご指導により、参加者全員が芳香剤を完成させ、嬉しそうに持ち帰っていました。



5. 発明工作詳細

「片手で持てるかな？」(体験者数：78組)

インターネット経由での事前予約を一部受け付けましたが、オープンスペースでの実施であったため、当日通りかかって興味を持った方の参加が多かったです。

正解が一つではない課題に対して、参加者それぞれがアイデアを出し、自分なりの答えを形にしようと熱心に手を動かす姿が印象的でした。



6. 展示詳細

知的財産権の種類及び保護対象を説明するパネル、並びに千葉県内の企業・団体が保有する知的財産を紹介するパネルを展示し、興味を持った来場者に対して弁理士が説明を行いました。

展示スペースでは、弁理士と長時間にわたって話をする来場者もあり、知財に対する関心の高さが窺えました。



7. その他のイベント効果について

ステージイベントに登壇いただいた千葉工業大学には、入試広報部から全面的なご協力をいただき、今後ますますの連携強化が期待できます。

関東会 HP、SNS での告知に加え、後援名義をいただいた団体様の HP での告知や、総合司会の出演を依頼した BAYFM 様によるラジオでの告知をしていただきました。来場のきっかけは、当日会場で開催を知ってという方が80%以上と最も多かったです。多くの人が集まるショッピングモールにてイベントを開催し、これまで知財や弁理士に縁がなかった方々に来場いただけたことで、知財及び弁理士の認知度向上に貢献できたと思います。

8. 最後に

今回、幅広い年齢層の方に参加いただき、延べ約550人の方々に知財に接していただくことができました。また、アンケート結果も「すごくいいイベントだった」「また来たい」等、好意的な感想を多く頂戴しました。

開催の約1年前からWGメンバーで企画内容を検討し、運営会社の one、BAYFMに加え、後援名義をいただいた各団体、会場となったイオンモール津田沼の全面的協力により無事終了することができました。本イベントに関係した全ての皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。





2026年度「弁理士の日 記念事業」(関西会)

2026年度「弁理士の日」記念事業「知財ふれあいフェスティバル」

関西会 知財普及・支援委員会 委員長 山本雅之
副委員長 中村忠則

1. はじめに

関西会主催「2026年度『弁理士の日』記念事業『知財ふれあいフェスティバル』」を、2026年6月27日(土)、大阪京橋にあるツイン21にて開催いたしました。多くの方に弁理士という職業を知ってもらうために、各委員の紹介、WEB、SNSや紙媒体すべての手法を駆使して集客に努めた結果、台風の影響により交通機関の乱れがあったにもかかわらず324名(大人162名、子ども162名)の方に来場していただきました。来場者の内訳も大人・子どものバランスが良く、皆さまが長い時間に亘って滞在していただき、ほとんどのイベントに参加してくれました。今年度初めて取り組んだ「弁理士おしごと体験」イベントは定員一杯になる盛況ぶり、弁理士という職業を周知することができました。「弁理士の日」記念事業に参加したきっかけも「参加したいイベントがあるから」というアンケート結果が出ており、知財に関するコンテンツも充実させることができました。

なお、地区会においても「弁理士の日」記念事業を以下のとおり開催いたしました。

- ・兵庫地区会「子ども向け工作教室」(6月20日(土))
- ・奈良地区会「親子工作教室」(7月4日(土))
- ・滋賀地区会「親子発明工作」(7月12日(日))
- ・京都地区会「親子発明工作教室」(7月18日(土))
- ・和歌山地区会「子ども向け実験教室」(8月16日(日))

2. 概要

日 時：2026年6月27日(土) 10:00～16:00

場 所：ツイン21 アトリウム

対 象：324名

テーマ：身近に楽しむ知的財産

弁理士と学ぼう あそぼう ものづくり

- ▼サイエンスショー「偏光板(見える見えないのふしぎ)」(大阪市立科学館) … 51名
- ▼箸技大会「予選」(一般社団法人国際箸学会) … 133名
- ▼箸技大会「決勝」(一般社団法人国際箸学会) … 36名
- ▼日本弁理士会公式キャラクター「はっぴょん」とのじゃんけん大会 … 90名
- ▼ミニセミナー「すべての捨てるを過去にする Re F o r m e の取り組み」 … 48名
- ▼サイエンスショー「バランス大実験」(大阪市立科学館) … 72名
- ▼コラージュアート体験(株式会社ミヤモリ) … 121名
- ▼サンドアート体験(藤野興業株式会社) … 82名
- ▼展示ブース(大阪税関) … 約200名
- ▼発明工作教室「万華鏡」 … 121名
- ▼弁理士おしごと体験 … 70名

- ▼クイズコーナー 約200名
▼はっぴよんとの記念撮影 約100名

3. 内容

▼サイエンスショー「偏光板（見える見えないのふしぎ）」（大阪市立科学館）

大阪市立科学館のご協力のもと、吉岡亜紀子会員を講師として、サイエンスショー「偏光板（見える見えないのふしぎ）」を実施しました。偏光板を使い、見えるものが見えなくなったり、見えないものが見えるようになったりする不思議な現象を、実験を交えながら紹介しました。また、携帯電話や液晶テレビなど身近な製品にも偏光板が利用されていることを説明し、科学技術と日常生活とのつながりを伝えました。



▼箸技大会（「予選」・「決勝」）（一般社団法人国際箸学会）

箸技大会「箸ピー」の決勝大会への進出者を決定するため、午前・午後それぞれ1回ずつ予選会を実施しました。競技内容は決勝大会と同一で、午前は62名、午後は71名が参加し、それぞれ18名ずつが決勝大会へ進出しました。決勝大会は、午前・午後それぞれ1回ずつ、各18名の参加により実施しました。

予選会では、競技の司会進行を国際箸学会の皆様にご担当いただき、弁理士は競技補助や参加者の整列、決勝大会進出者の誘導・管理などの運営を担当しました。決勝大会では、弁理士が司会を担当し、円滑な進行に努めました。

また、司会を担当した弁理士からは、もう一つの箸技である「箸リン」が特許を取得していることなどを紹介するとともに、「箸ピー」をはじめとする箸技を考案された国際箸学会の小宮山会長からもご挨拶を頂くなど、子どもたちが知的財産への関心を深めることができるよう工夫しました。



▼日本弁理士会公式キャラクター「はっぴょん」とのじゃんけん大会

開始前から数十人のご家族が並んでおり、はっぴょんとのじゃんけん大会を楽しみにしていました。大会が始まると、みんなどの手をだそうか、真剣に考えていました。隣の付き人がはっぴょんの意見を聞いて、代わりに手を出しました。

勝ったお子さんは喜んでおり、負けたお子さんはちょっと悔しそうでした。勝った子も負けた子も、はっぴょんとの記念撮影を楽しんでいました。はっぴょんは、小さいお子さんと触れ合えることを楽しんでおり、リズミカルに動きながらにっこりと横で応援していました。



▼ミニセミナー「すべての捨てるを過去にする R e F o r m e の取り組み」

アパレルの製造を生業とされている株式会社ミヤモリの代表取締役社長の宮森穂氏にご登壇いただきました。同社は、OEMを支えるアパレルメーカーとして一定の地位を得たのちに、自社ブランドの販売を開始し、さらには廃棄物とされる端材に価値を生み出すという活動をされています。その一つとして、アパレルを炭化した、「服の鉛筆」や、炭化物のさらなる利用方法を検討されているというR e F o r m e の取り組みをご紹介いただきました。

ミニセミナーの後半には司会とのディスカッションの時間を設けました。OEMだけを行っていた時期にはほとんど知財化されていなかったが、自社ブランド販売を開始した時期、R e F o r m e の取り組みを開始された時期などには、沢山の商標権を取得され、また、特許権を取得されています。それぞれの過程における会社としての考え方を総括していただきました。

最後に、一般によく知られているような大企業だけではなく、同社のような一般には知られていない企業がビジネスを切り開いていく上で、知的財産権が重要な役割を演じていることをご紹介しました。



▼サイエンスショー「バランス大実験」(大阪市立科学館)

午後の部のサイエンスショーは、午前の方に引き続いて、大阪市立科学館のご協力のもと、吉岡亜紀子会員を講師として、「バランス大実験」を実施しました。「バランス大実験」は、身近な物体の“重心”を題材とし、子どもにも理解しやすく、また大人も興味深く楽しめる内容となっていました。ショーでは、木の棒の両端を両手で支えた状態から、徐々に手を中央へ移

動させていくことで、自然と重心位置に手が集まっていく様子や、大阪府の形状を模した平板を使った重心の実験等が行われました。平板の任意の一点を支え、その支点の真下に印をつける作業を2回行い、印の交点が重心となることを示す内容で、形がいびつな物体でも重心が一つに定まることを視覚的に理解できる構成となっていました。ショー全体を通じて、重心という一見難しそうな概念を、体験と視覚的な仕掛けを通してわかりやすく伝える内容となっており、会場からは驚きや納得の声が上がっていました。



▼コラージュアート体験（株式会社ミヤモリ）

①A3用紙を2つ折りした用紙で、部分的に切り欠きを有するイラストの描かれている表紙ページと、表紙ページが上に重なるページで、イラストの切り欠き部分の輪郭が描かれている台紙ページと、を有する用紙と、②服を作った際に生じる切れ端と、③はさみ及び木工用接着剤と、が準備されており、様々なサイズ及び形状に裁断した切れ端を参加者に木工用接着剤で台紙に張り付けてもらう作業を体験していただきました。



▼サンドアート体験（藤野興業株式会社）

藤野興業株式会社にご協力いただき、サンドアート体験を実施しました。サンドアート体験は、参加者が好みのサボテンを一つ選び、透明のガラス瓶にびんから生まれた様々な色のガラス砂（ガラスサンド）を敷き詰めて、その上にサボテンを置き、オリジナルのボトルアートを作ります。各テーブルでは、同社のスタッフの方に作り方を教えてもらいながら、子どもたちが熱心に思い思いのガラスサンドを瓶に敷き詰めてサンドアートの制作を楽しんでいました。完成した作品は小さな紙袋に入れていただきました。今年度はサンドアートについての冊子もご準備いただき、冊子内ではガラス瓶回収からガラスサンドができるまでや、できたガラスサンドがどのように使用されているか等の説明が記載されていました。



▼展示ブース（大阪税関）

大阪税関のブースでは、サッカーの応援ユニフォームやミャクミャクのTシャツ等の実際の模倣品を展示していただきました。また、真正品と模倣品を見比べて、模倣品はどちらかを当てるクイズを設けていただきました。カスタム君や麻薬探知犬のバッジが当たるカプセルトイや、カスタム君の小物入れや紙飛行機を作るコーナーも用意されており、子どもを中心に幅広い層が模倣品について楽しみながら理解を深めることができる内容でした。さらに、今年度も大阪税関のイメージキャラクターであるカスタム君に登場していただきました。はっぴょんとともに、会場の雰囲気を大いに盛り上げていただきました。



▼発明工作教室「万華鏡」

紙コップ2個、分光フィルム2枚、アルミ箔1枚を用いて万華鏡を製作しました。具体的には、紙コップの底にあけられた穴を分光フィルムで覆い、一方の紙コップの飲み口をアルミ箔で覆い、2つの紙コップを重ね、まわして光の変化を楽しんでももらいました。また、アルミ箔にあける穴の数や大きさで見え方が変わることを子どもたちに伝え、子どもたちは興味津々で取り組んでいました。さらに、作業が早く終わった子どもにはカラーペンで紙コップの装飾を楽しんでもらい、全体の作業時間が15分から20分程度に収まるよう進行を調整しました。



▼弁理士おしごと体験

今回、新たな試みとして、弁理士の仕事を体験してもらうコンテンツを実施しました。商標を題材とし、まず、商標とは何か、商標権を取るための条件、商標権を取るまでの流れを学んでもらった後、弁理士になった証として、はっぴよんのピンバッジをつけてもらいました。次に、商標権を取りたいと考えている依頼者からの依頼を受けて、「商標登録願」を作成し、「はっぴよん特許庁」に出願して、商標が登録となるまでを体験してもらいました。最後に、「商標登録証」を一人一人にお渡しして、体験は終了としました。難しい内容であったと思いますが、参加されたみなさまは、興味を持って話を聞き、「商標登録願」を完成させてくれました。12～18名／回で6回行うことを予定していたところ、毎回10名前後の参加があり、参加者の合計は70名（うち、大人5名）で、無事多くの方に参加してもらうことができました。



▼クイズコーナー

クイズは、簡単なものと難しいものをバランスよく作問し、弁理士について知ってもらえる良い機会になりました。

また、例年は、参加賞としてヘリウムガス入りの風船を渡していましたが、今年度は、昨今の立体シールブームを踏まえて、はっぴよんの立体シールを渡しました。



▼はっぴよんとの記念撮影

はっぴよんがやってくると、たくさん子どもたちがはっぴよんに歩み寄っていき、記念撮影をされていました。ふわふわのはっぴよんを「かわいい」と言いながら撫でているお子さんが多く、はっぴよんが愛されているキャラクターであることを改めて感じました。はっぴよんは、たくさん子どもに囲まれて、楽しそうにポーズを取って写真撮影に応じていました。



（手前）カスタム君（奥）はっぴよん



（左）カスタム君（右）はっぴよん

※「はっぴよん」は日本弁理士会の登録商標です。

※「箸ピー」および「箸リン」はコミー株式会社の登録商標です。

※「ReForme」は株式会社ミヤモリの登録商標です。

※「ミヤクミヤク」は公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の登録商標です。

1

8月までの支援活動

関東会

「知的財産特別授業」ひたちなか少年少女発明クラブ

1. 日 時：2026年8月1日（土）9：00～12：00
2. 場 所：ひたちなか市東石川小学校
3. 対 象：39名（小3：14名、小4：11名、小5：3名、小6：1名、合計29名、
保護者2名、指導員8名）
4. 講 師：茨城委員会 大枝洋一
知的創造教育支援委員会 佐藤高信（オブザーバー参加）
知的創造教育支援委員会 萩原剛志
5. 内 容：

茨城県ひたちなか市にて、ひたちなか少年少女発明クラブの皆さまを対象に、電子紙芝居、クイズを含む発明・特許・意匠に関する講義、及び「スマートフォンを置く台」の発明工作を行いました。

講義では、電子紙芝居『パン職人レオ君奮闘記（第2章）』やクイズ、「ヒット商品はこうして生まれた!」の事例を用いて、特許や意匠について説明し、学生でも権利取得ができることなどを紹介しました。クイズではAIBIなど元気に回答する姿が見られました。

工作では、身近な材料を使って個々人で「スマートフォンを置く台」を制作しました。生徒たちは会話をしながら楽しそうに作業を行い、講師や指導員が各人の進捗に応じて個別にアドバイスをしました。完成後は作品を発表し、工夫した点などを説明しました。

最後に、発明やデザインのポイントを改めて伝え、アンケートと片付けをして終了しました。アンケートでは、工作が楽しかったという声や、特許や意匠・商標についてももっと知りたいといった声が寄せられました。

■授業風景の写真



関東会 知財創造教育支援委員会 萩原剛志

「知的財産特別授業」浅間台小学校放課後キッズクラブ

1. 日 時：2026年7月27日（月）10：30～11：30
2. 場 所：浅間台小学校 図工室
3. 対 象：小学生23名（1年8名、2年8名、3年2名、4年3名、5年2名）
4. 講 師：知財創造教育支援委員会 大久保真己
神奈川委員会 三宅康雅

5. 内 容：

夏休みの特別プログラムの一つとして、「めざせ!ちりとり発明王!」をテーマに工作授業を行いました。工作のテーマは「ちりとり」としました。

まず、「発明とはなにか」について、説明を行いました。そして、「パン職人レオ君の物語」（第一章）の電子紙芝居を見ていただき、その後身近な発明品についての講義を行いました。身近な発明品を紹介するコーナーでは、片手で泡が出せる花王株式会社さんの「泡スタンプハンドソープ」をご紹介します。だれでも簡単に片手で泡を出せる工夫がされていることや、出てくる泡の形等が工夫されていることを説明しました。

その後「ちりとり」の発明工作に取り組んでいただきました。ちり通りのイメージがし易かったせいか、全員工作への取り掛かりが早かったように思います。30分程度の工作時間でしたが、全員納得のいくものを製作できていたようでした。

代表児童3名に、発明品の説明や、工夫した点を発表してもらいました。どの発明品もオリジナルのアイデアがあり、また他の児童さんも代表児童さんの説明を熱心に聞いていました。

最後に、今回の授業のアンケートを回答していただき、弁理士会のお土産（水平開きノート等）をお渡しして、予定通り11：30に終了しました。

■授業風景の写真



関東会 知財創造教育支援委員会 大久保真己

東 海 会

「知的財産支援フォーラム2026 in 長野」

1. 日 時：2026年7月24日（金）14:00～16:35
2. 場 所：ホテルメトロポリタン長野2階「千曲」
3. 対 象：企業知財担当者、経済団体職員、行政職員35名、弁理士20名、合計55名
4. 講 師：廣田美穂、落俊行、大池秀実、久保順一
5. 内 容：

フォーラム開催に際し、日本弁理士会東海会堀会長及び長野県産業労働部産業技術課林課長より開会の挨拶がありました。

第1部では、日本弁理士会東海会の廣田美穂会員から、手持ちの資源やつながりを起点に新たな可能性を考える「エフェクチュエーション」について、企業事例を交えながらご説明いただきました。また、企業が自社の強みを活かしていく上での考え方や、事業上のリスクへの備えについてもご講演いただきました。参加企業の皆様にとって、自社の強みを改めて見つめ直すきっかけとなる、大変有意義な内容となりました。

第2部では、「知財を経営の観点でどう捉え、事業を守り、運用しているか～中小企業の実例から学ぶ～」と題して、伊那食品工業株式会社の落俊行氏と、株式会社オーイケの大池秀実氏にご講演いただきました。講演では、それぞれの企業の強みを活かした知財活動の実例についてご説明いただきました。両社とも、知財への取り組みがない状態から、どのように自社の強みを知的財産として保護し、利益につなげてきたのかを具体的にご紹介いただきました。参加企業の皆様にとっても、自社の活動に置き換えて考えることのできる、示唆に富んだ内容となりました。

第3部では、パネルディスカッション及び質疑応答が行われました。パネルディスカッションには、INPIT知財アドバイザーの久保順一氏にもご参加いただき、支援機関の立場から見た企業の強みの活かし方等についてご説明いただきました。また、会場からも各企業に対して多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われるなど、充実した内容となりました。

本フォーラムを通して、長野県内の企業が自社の強みを改めて見つめ、知財への取り組みを始めるきっかけとなれば幸いです。

東海会会長挨拶





長野県産業労働部産業技術課長挨拶



廣田講師



落講師



大池講師



パネルディスカッション

東海会 長野県地区会 地区会長 岩垂裕司

「知的財産出前授業」碧南市ものづくりセンターとの共催

1. 日 時：2026年8月4日（火）13：30～16：30
2. 場 所：碧南市ものづくりセンター（愛知県碧南市）
3. 対 象：碧南市内在住の小学校3年生～6年生 19名
4. 講 師：教育機関支援機構 副機構長 山本竜也、高橋俊一
運営委員 榊原毅、伊藤正典
教育機関支援キャラバン隊 北裕介

5. 内 容：

当日のスケジュール

- (1) 開会（センター所長）
- (2) 知財講座「はつめいって・とっきよってなあに？」＜25分＞（担当：山本竜也）
- (3) 電子万華鏡の工作（主担当：伊藤正典）
- (4) 電子万華鏡の動作確認
- (5) 覗き窓の工夫、追加の電子万華鏡の工作

講座の申込人数は、20名（定員20名）でしたが、2名欠席となり、当日1名追加で申し込みがあり、計19名となりました。

知財講座では、「発明」、「特許」、「弁理士」について、説明しました。身近な発明（カッター、二次元コード（QRコード）、カドケシの発明について、どのような着想（ヒント）を得て、これらの発明が完成したか、参加者に考えてもらいつつ、説明しました。また、「なぜ特許が必要なのか」を、ストーリーを通じて学んでもらいました。

工作では、子どもたちに個別に、発光ダイオード（LED）と電池ボックスを使った「電子万華鏡」を作成してもらいました。

電子万華鏡では、2つの紙コップの口同士を重ねた筒状の紙コップの一方の底に開けた穴から、回析格子シートを介して、他方の紙コップの底に取り付けられたLEDを見ることで、分散した光が万華鏡のように見えます。

この工作は、主に、(1) 紙コップの内部に黒色の紙を貼る工程、(2) 紙コップの底に穴を開ける工程、(3)、紙コップの底に回析格子シートを取り付ける工程、(4) LEDと電池ボックスを接続し、紙コップの底にLEDを取り付ける工程、からなります。

(1) と (2) の工程では、型紙を切り取り紙コップ内部に張り付けたり、紙コップの底を切り抜いたりする作業は、手先を器用に動かさないといけないため、やや苦戦している子どももいました。上手く黒い紙を貼って紙コップ内部を暗くできるか、覗き穴をちょうどよい場所（中央）開け、ちょうどよいサイズにできるか、は完成した際の見栄えに影響しますので、手先を器用な子どもが上手くできているような印象を持ちました。

(4) の工程では、電工ペンチで配線の被覆を剥ぐのに苦戦している子どもが多かったと思います。講師の指導の下、はんだ小手を使ってLEDと電池ボックスを接続する子どももいました。

電子万華鏡の動作確認後には、追加で電子万華鏡をもう一度作成する子どもや、動物型のクラフトパンチでくり抜いた用紙を覗き穴に張り付けて見え方が変わるか等工夫して工作をしてもらいました。

講座では、ほとんどの子どもがすぐに受け答えをしてくれました。

工作終了後の退室時には、今日は何を使ったの?と聞くと、「かいせきこうしー!」と元気よく答えてくれたり、家に帰って工作を家族に見せる、と答えてくれる子どもがいました。

今回の工作で発明について興味を持ってくれたり、ものづくりの楽しさを子どもたちが実感してくれれば幸いです。



講義の様子



工作の様子

東海会 知的財産支援委員会 委員 山本竜也

「第1回 Nagoya Musubu Tech Lab セミナー」

1. 日 時：2026年7月3日（金）15：00～16：30
2. 場 所：名古屋市工業研究所
3. 対 象：主として中小企業の経営者または知財担当者 25名
4. 講 師：日本弁理士会東海会 知的財産支援委員会 副委員長 三林大介
委員長 高垣佳希 委員 林信吾、笠井浩平
5. 内 容：

当初は中小企業の経営者を主な対象としていましたが、実際には中小企業の知財担当者の参加が多く見受けられました。また、当初定員を上回る20名超の参加があり、会場は盛況でした。

講演内容は参加者の関心とよく合致しており、質疑応答も活発に行われました。特に、「中小企業はどのように生き残るべきか」「大企業の知財戦略が中小企業にそのまま当てはまりにくいのはなぜか」といった、中小企業ならではの実践的な質問が多く寄せられました。講演終了後にも複数の参加者が講師に質問しており、本テーマへの関心の高さが窺えました。

今回のセミナーを通じて、中小企業における知財活用へのニーズの大きさを改めて実感しました。一方で、インターネットや書籍等では、中小企業向けの実践的な知財戦略の情報が必ずしも十分に整理・提供されておらず、実務者が必要な情報にアクセスしにくいという課題もあるように感じました。

その意味で、本セミナーは、中小企業の実情に即した知財支援として有意義な機会であり、知的財産支援活動の目的にも沿うものと考えられます。今後も同様の活動を通じて、中小企業が知的財産を経営に活用できるよう支援していくことが重要であると感じました。



講演会の様子

東海会 知的財産支援委員会 委員 笠井浩平

瀬戸信用金庫・日本弁理士会東海会主催 職員・顧客向け講座

1. 日 時：2026年7月24日（金）16：00～17：30
2. 場 所：日本弁理士会東海会事務所
3. 対 象：瀬戸信用金庫職員及びその顧客8名
4. 講 師：奥村徹
5. 内 容：

本セミナーは、瀬戸信用金庫様と締結した「中小企業等への知的財産、経営及び金融に関する支援連携協定」に基づき、瀬戸信用金庫様の職員及び顧客を対象として行った知的財産に関するセミナーです。なお、本セミナーに先立ち、名古屋商工会議所の平松慎一様から各種支援施策や相談対応について、また、愛知県事業承継・引継ぎ支援センターの高橋広光様から名古屋商工会議所の取組み（よろず相談等）についてご説明がありました。

本セミナーは、弁理士会発行の「ヒット商品を支えた知的財産権（令和7年度改訂版）」を題材として、知的財産の活用例として10事例を紹介しました。また、あまり知的財産に馴染みの無い参加者が対象であると伺っていたため、知的財産についての基礎知識や金融機関関係者が知的財産を学ぶメリットなどについても簡単に説明しました。

本セミナーの最後に質疑応答の時間を設けましたが、特に質問等はありませんでした。そのため、東海会で無料相談を受け付けていることを伝え、いつでもご活用頂けるよう促しました。

東海会 知財金融対応委員会 委員長 加藤大輝
委員 奥村徹

土岐市教育研究所「教職員向けサマーセミナー」

1. 日 時：2026年7月29日（水）13：30～16：00
2. 場 所：土岐市文化プラザ 3階 第5研修室
3. 対 象：市内小中学校教職員16名 幼稚園職員5名 市職員4名 合計25名
4. 講 師：日本弁理士会東海会 岐阜県地区会 運営委員 岡本茂樹、加藤肇
教育機関支援キャラバン隊 加藤光宏

5. 内 容：

第3回となる土岐市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校の先生、土岐市市役所の職員を対象にした、「サマーセミナー 生成AIに関する知的財産の研修」と題して、とくに学校関係（制限規定）にターゲットを絞った著作権に関する講義を三部制で行いました。

第1部では、「著作権とは」というところから、生成AI関連（30条の4）まで幅広く概論及び各論（とくに複製権、上演・演奏権、公衆送信権を中心）の講義を行いました。

第2部では、事前アンケート（参加者の先生方に普段の業務で気になっている著作権に関する質問）に対する回答を、実例を交えながら具体的に解説を行いました。研修テーマが生成AI絡みということから、生成AI関連の質問が多かったです。

第3部では、事例を配布し検討を行ってもらいました。例えば、文化祭のポスターのイラストを生成AIを利用して作成する際の注意事項（原則と例外）や、運動会におけるBGMの使用、リアルタイム配信、オンデマンド配信等を行う際の注意事項（原則と例外）、について行いました。

最後に、質疑応答の時間を設け、先生方から平日頃から気になっている質問を多くいただきました。

講義終了後に、今回参加は管理職（教頭先生）が多く、次年度は現場の先生に是非講義をお願いしたいといったお声を頂きました。

東海会 岐阜県地区会 運営委員 岡本茂樹

土岐市教育研究所「夏休みものづくり講座」

1. 日 時：2026年8月7日（金）13時30分～15時30分
2. 場 所：セラトピア土岐
3. 対 象：小学3年生～小学6年生 19名
4. 講 師：日本弁理士会東海会 岐阜県地区会 地区会長 柘植千咲
地区副会長 各務幸樹、運営委員 岡本茂樹
5. 内 容：①プロペラの羽を飛ばそう②アイデアシートに基づく講評

第3回となる土岐市の小学生を対象とした工作授業（プロペラで飛ばそう!）を行いました。3、4年生と5、6年生が約半数ずつであったことから、簡単なコンテンツ（紙コプター）とやや難しいコンテンツ（プラコップヘリコプター）を用いることにより、低学年から高学年まで夢中で取り組んでももらえました。また、知財アニメ（「発明ってなあに」1章、2章）の上映を行いました。

コンテンツを作成して飛ばした後は、考えたこと・工夫したことをアイデアシート（「工夫したこと、考えたこと、ひらめいたこと」「その結果」）に記載してもらい、うまく飛ばすという課題をアイデアや工夫によって解決することが発明につながることを伝えました。

コンテンツの作成がうまくいかなかった児童からも「作ることが楽しかった」といったコメントや、「もっとうまく作ってみたいくなった」、「もっとうまく飛ばせる仕組みを知りたくなった」といったコメントが多数寄せられ、嬉しく感じました。

今年も帰りがけに、子供たちから「楽しかった!」、「来年もある?」といった言葉をいただいたことから、本年度も土岐市教育委員会との連携で行った本イベントを首尾良く終えられたものと考えます。

なお、プラコップヘリコプターの作成において、プロペラ以外の部分（例えば上下の羽根を連結する軸部分）の作成に時間がかかったため、羽根を工夫する時間をあまり取れませんでした。また、手順書の作成工程の図（部品が透明プラコップ）が見つらなかったことから、うまく作れない児童も多かったように思われます。改善点としては、軸部分等をあらかじめ作成しておくことで、うまく作成できる児童が増え、羽根と飛行との関係性をより深く考えてもらえる時間も多く確保できるようになるものと思われます。

講義の様子





東海会 岐阜県地区会 運営委員 岡本茂樹

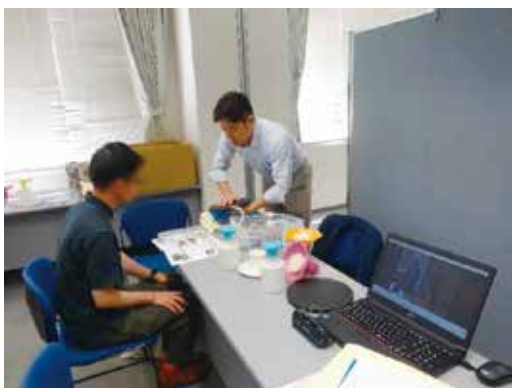
関 西 会

2026年度「学びのメニューフェア」

1. 日 時：2026年7月23日（木）13：20～15：40
2. 場 所：ピアザ淡海
3. 対 象：144名（出展者数 96団体・個人）
 - ・ブース出展希望の「出前授業」・「出前講座」支援者
 - ・県内小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教職員
 - ・県内幼稚園・保育所・認定こども園関係職員
 - ・滋賀県内市町教育委員会関係者、滋賀県職員
 - ・学校関係者（PTA・学校運営協議会・地域学校協働活動・学校評議員会等関係者）
 - ・図書館・児童館・公民館等社会教育関係者
 - ・子ども食堂、フリースクール、子育て支援施設等関係者
 - ・社会教育委員、社会教育主事、社会教育士等
 - ・滋賀県内14大学・短期大学の学生
 - ・滋賀県家庭教育協力企業協定制度（しがふあみ）締結企業関係者
4. 派遣会員：岸本忠昭、古澤寛
5. 内 容：

滋賀県教育委員会主催の「学びのメニューフェア」に参加し、日本弁理士会関西会の「知的財産特別授業」を紹介してきました。このフェアは、滋賀県内の小中学校・高等学校を初めとする教育機関等に対する、学外の団体等による行事・授業の支援の仕組みづくりの一環として、毎年開催されています。フェアでは、支援者ごとに設置されたブースで、参加者（主には教育機関等の現場の教職員の方々）の求めに応じて、支援者によって提供される出前授業等の説明がなされます。

日本弁理士会関西会のブースでは、知的財産特別授業（寸劇形式、講義形式、発明工作授業）内容について、授業に使う備品を見て・触ってもらいながら説明しました。参加者の方々のニーズ・興味は区々で、それに応じた濃淡を付けて説明できたと思います。今後、知的財産特別授業への滋賀地区からの申込数が増えることを、期待しています。



関西会 知財普及支援委員会 古澤寛

「知的財産特別授業」大阪府立長尾高等学校

1. 日 時：2026年6月18日（木）12:00～12:50
2. 場 所：大阪府立長尾高等学校
3. 対 象：3年生 1クラス 32名
4. 講 師：山田淳一、吉永元貴
5. 内 容：高校知財授業（寸劇）

今回訪問した長尾高等学校は、枚方市の閑静な住宅街にありました。3年生1クラス（計32名）の生徒を対象に、スライドを活用した寸劇形式の知財授業を実施しました。

授業の冒頭で、弁理士という職業を知っているか、生徒の皆様に質問してみましたが、知っている生徒はいませんでした。特許や商標といった知的財産権についての用語は知っていても、知的財産権の取得や権利行使などの場面で活躍する弁理士という職業についての認知度が低いことを実感しました。今回の知財授業は、弁理士という職業を知ってもらううえで、非常に良い機会であると思いました。

寸劇の内容は、おにぎり包装の発明「ぱりのりバック」を生み出した発明者・三島が、弁理士の助けを借りて特許権を取得し、その後のトラブルを乗り越えていく様子を描いたものです。前半では、権利化に至るまでのプロセスを説明し、後半では、模倣品との侵害紛争や、相手方からの無効主張、お互いの特許が複雑に交錯する状況など、現場で起こり得るトラブルについて、説明しました。特許という専門的なテーマであっても、寸劇形式であることで、制度の必要性や弁理士の役割を伝えることができたのではないかと思います。

この授業をきっかけにして知的財産について興味を持ち、将来は発明者若しくは弁理士として知的財産に関係するような職業に就く生徒がいてほしいと思いました。

なお、本件は、特許庁委託事業「令和8年度 知財エコシステムの多様性拡大に資するイノベーター育成に関する調査事業（知財イノベーター育成事業）」の一環としても実施されました。



関西会 知的財産特別授業講師 吉永元貴

「知的財産特別授業」滝川第二中学校

1. 日 時：2026年7月6日（月）10：45～12：35
2. 場 所：滝川第二中学校
3. 対 象：2年生 3クラス 80名
4. 講 師：中村忠則、古澤寛
5. 内 容：中学・高校知財授業（講義）

滝川第二中学校を訪問し、知的財産特別授業を行いました。滝川第二中学校は、兵庫県神戸市西区春日台の自然豊かな郊外に立地し、滝川第二高等学校と併設されて、大きなグラウンドや体育館を含む広々としたキャンパスを持つ学校です。

講義形式の授業では、「プルトップ缶」を中村会員が、「きき湯」を古澤会員が説明しました。

「プルトップ缶」では、特許権を取得した構造、即ち、缶詰の開封時に生ずる切り口によって指先が負傷することを避けるための構造について、断面図を参照しながら詳しく説明しました。そして、その構造に至るための技術開発には長期間の努力を要して困難であったことや、外国では苦労を経て多数の特許権を取得したこと、その重要性なども、説明しました。外国での権利取得に関して発明者の実感が伴った「特許とは、『交通手形』のようなもの」という言葉も紹介しました。

「きき湯」では、長期間にわたる開発を経て完成した入浴剤について、その商品化にあたり、特許権と共に商標権および意匠権も取得することによって多角的に保護したという企業活動を紹介しました。そして、形の無いものを他人に奪われない・真似されないようにするための知的財産権という法的仕組み（差し止め請求権、損害賠償請求権など）の説明により、知的財産権の必要性・重要性を示しました。

その後のクイズコーナーでは、特に乾電池とシャープペンシルについて、発明者が外国人であると考えた生徒が多く、発明者が日本人であることが意外なようでした。

今回の授業では、製品開発の実話を通じて、特許権・商標権・意匠権の役割や、これら知的財産に関わる弁理士という職業に関し、生徒の皆さんには理解を深めてもらえたのではないかと思います。

なお、本件は、特許庁委託事業「令和8年度 知財エコシステムの多様性拡大に資するイノベーター育成に関する調査事業（知財イノベーター育成事業）」の一環としても実施されました。



※「きき湯」はアース製薬株式会社の登録商標です。

関西会 知的財産特別授業講師 古澤寛

「知的財産特別授業」大阪府立東住吉総合高等学校

1. 日 時：2026年7月14日（火）10：45～11：35
2. 場 所：大阪府立東住吉総合高等学校
3. 対 象：2年生 1クラス 32名
4. 講 師：大西正夫、向井秀一
5. 内 容：中学・高校知財授業（講義）

今回は、大阪市平野区にある「大阪府立東住吉総合高等学校」で知財授業を実施しました。同校はINPITの令和8年度「知財力開発校支援事業」を活用するなど、担当の先生が生徒の知財マインドの醸成に熱心に取り組まれており、今回の授業も「生徒たちがデザインパテントコンテストに応募するために、自分たちの考えたデザインをJ-PlatPatで検索し、意匠権の侵害が無いかどうかを調べる」ことができるように、とのご要望を受けた内容で実施しました。

授業では、大西会員が本授業に向けて作成した資料を用いながらデザインパテントコンテストの概要や入賞者の将来の展望、応募に当たっての注意事項、さらに「カドケシ」を題材にどのような日常的な困りごとを端緒として優れたアイデア・デザインが生まれてくるのかのプロセスなどを説明しました。

生徒の皆さんは授業に先立って身の回りの物について困りごと（不便に思うこと）を考えてきており、それを踏まえてコンテストに何を応募するか考えることを「夏休みの宿題」とされているとのことでした。

また、授業中に向井会員がJ-PlatPatを使って意匠分類を用いた検索など意匠調査のやり方を実演し、その実演と並行して、生徒の皆さんも個々に割り当てられた端末で自分が調べたい物品の登録意匠を検索しました。演習に使える時間はごく短いものでしたが、今回学んだ調査手法をぜひ応募案の作成に活用してもらえればと思います。

生徒の皆さんにとっては馴染みのない話が多かったかと思いますが、今回の知財授業が、知的財産権や弁理士という職業について、少しでも興味を持ってもらえる端緒になれば幸いです。



※「カドケシ」はコクヨ株式会社の登録商標です。

関西会 知的財産特別授業講師 向井秀一

2026年度MOBIO知財セミナー(第1回)

1. 日 時：2026年6月19日（金）15：00～16：00
2. 場 所：クリエイション・コア東大阪南館2階 産学連携オフィス セミナールーム
3. 対 象：14名
4. 講 師：萩森学
5. 内 容：「知財って何？」から一步進もう！今さら聞けない知財の基礎セミナー

14名の参加者を得て開催されました。本セミナーでは、導入部分で、知的財産とはについて説明され、知財を守ることはなぜ必要かについて具体例を挙げて説明されました。導入部分に続く部分では、知的財産を守る仕組みとして、特許法や、実案法、意匠法、商標法、著作権、種苗法、不正競争防止法などがあることを紹介されました。本編部分では、まず特許法とはどういうものを、網羅的に説明され、特許法の説明のあと、実用新案法の説明を特許法との差分を中心に説明されました。その後、意匠法、商標法についても特許法と同様に網羅的に説明されました。

なお、例えば特許法では、特許とはどういうものか、発明とはどういうものか、発明と認められないものとはについて説明され、出願から登録までの一連の流れ、特許要件の説明 J-PlatPat などを用いて先行技術調査ができることなどについて説明され、さらに、特許出願にどんな書類が必要か、出願公開・出願審査請求、審査官とのやり取りにどういうものがあるか、特許権の活用、侵害対応の対応などの説明をされました。

質疑応答では4名の参加者からの質問を受け付け、セミナー内で説明していない優先権主張などの質問に対しても丁寧に回答されていました。

セミナーの終了後の交流会は、およそ1年ぶりに開催され、セミナーの感想や参加者の知財に対する個人的な興味などの話を聞くことができました。



関西会 知財普及・支援委員会 西田直樹

知財基礎講座(第1回)

1. 日 時：2026年7月14日(火) 15:30～16:30
2. 場 所：Zoom によるオンラインセミナー
3. 共 催：一般社団法人京都発明協会、日本弁理士会関西会、京都地区会、
INPIT 京都府知財総合支援窓口、京都商工会議所
4. 対 象：40名
5. 講 師：片倉等
6. 内 容：「知財入門『知財は”コスト”ではなく”投資”です』」

「知財はコストではなく投資です」というサブタイトルのもと、知財入門の講座を実施しました。講座では、まず知的財産の全体像を法的・経済的な視点から説明し、続いて各知的財産権の概要を解説することで、知的財産権に対する理解を深めてもらいました。次に、バルミューダ株式会社のトースターを事例として取り上げ、知的財産をどのように活用して事業創造につなげたのかを説明しました。最後に、明日から実践できる取り組みとして、企画から販売までの各段階における知財活動について解説しました。Q&A の時間では比較的多くの質問が寄せられ、口頭で補足しながら回答を行いました。

関西会 京都地区会 副地区会長 片倉等

2026年度「弁理士の日」記念事業(奈良)

1. 日 時：2026年7月4日（土）14：30～16：15
2. 場 所：なら100年会館 小ホール
3. 対 象：19名（子ども10名 保護者9名）
4. 講 師：6名（奈良地区会運営委員、地区会員）
5. 内 容：「ゴムで走る車を作ろう！」
 - （1）弁理士業務の紹介（14：30～14：35）

特許、商標など知的財産権の種類を説明し、特許庁で審査、登録を行なうにあたり弁理士が発明者に代わって手続きを行なうことを説明しました。

特許庁に「キッズページ」があり、知的財産について分かりやすく説明している旨を紹介しました。
 - （2）工作概要説明、自動車競技のルール説明（14：35～14：40）
 - （3）自動車製作（14：40～15：40）

自動車は、段ボールを使用して車体や車輪を製作し、ゴムの弾性によって車軸を回転させて走行するものです。段ボールの加工で、カッターナイフを使用する箇所は、主催者側であらかじめ加工しておいて、参加した児童はハサミやセロテープ等の使用に限定しました。

時間が余れば、自動車のボディの形を変えたり、色付けをしたり自由にデザインして、オリジナルな自動車製作ができるようにしました。
 - （4）競技（15：40～16：00）

会場フロア中央を広く開けて、各自製作した自動車を走行させました。

それぞれ2回の走行を行って、長い方の距離を成績として採用しました。

1回目は、まっすぐに走行しなかった車や、ゴムの力が強すぎて手を離れたとたんにタイヤが空転してしまい、走行距離が伸びなかった車がありました。

2回目では工夫されたと思います。
 - （5）成績発表（16：00～16：15）

走行距離が1位の自動車（5mの走行）と、デザインに工夫を凝らした自動車を表彰しました。



会場の様子

関西会 奈良地区会 副地区会長 門田康

2026年度「弁理士の日」記念事業(兵庫)

1. 日 時：2026年6月20日(土) 11:00～16:00

第1回 11:00～12:00

第2回 13:00～14:00

第3回 15:00～16:00

2. 場 所：バンドー神戸青少年科学館 北館3階 サイエンスラボ 工作室

3. 対 象：第1回：子ども12名、保護者13名、計25名

第2回：子ども14名、保護者16名、計30名

第3回：子ども18名、保護者17名、計35名

合 計：子ども44名、保護者46名、計90名

4. 講 師：吉岡亜紀子

5. 内 容：「クリックで探査機の着地ミッション！」

(1) 弁理士について

弁理士は、アイデアなどの知的財産を特許、商標、意匠などの仕組みで守るお手伝いをしていることを説明しました。あわせて、本工作教室が「発明」や「ものづくり」を体験する企画であることを紹介しました。

(2) 「クリップ探査機の着地ミッション！」に挑戦しよう

ダブルクリップを「小惑星に着地する探査機」に見立てて、参加者がオリジナルの探査機をつくり、小惑星への着地に挑戦するワークショップを行いました。あらかじめ用意された設計図はなく、参加者が自分で思いついた構造をその場でつくり、ためし、また作り直すという、発想と試行錯誤を重ねる内容としました。

(3) 発見したことや工夫したことを話し合おう

参加者は、完成した探査機の着地に挑戦しながら、うまく着地させるための姿勢制御などの工夫を、参加者同士や、参加者と弁理士とで話し合った。早く完成した参加者には2つ目の探査機の製作に挑戦してもらうなど、各自のペースに合わせて取り組めるよう進行を工夫しました。子どもだけでなく保護者も一緒になって熱心に取り組む様子が見られました。



関西会 兵庫地区会 運営委員 西山玄一郎

四国会

「知的財産特別授業」愛媛県立大洲高等学校

1. 日 時：2026年8月21日（金）10：55～12：45
2. 場 所：愛媛県立大洲高等学校
3. 対 象：商業科3年生35名及び教職員1名
4. 講 師：四国会 相原正
5. 内 容：

前半は、最初に知的財産の概要について説明した後、ブランド（商標）の事例、デザイン（意匠）の事例、地域ブランドの事例、発明（特許）・著作権の事例等について、商標を中心に説明しました。

後半は、地元食材を使ったご当地バーガーの商品開発を行い、その商品を保護する知的財産について考えてもらうグループワークを行い、グループで発表してもらいました。

35名と少人数の受講者であったが、全員熱心に聴講してくれ、質問にもしっかりと答えてくれました。また、グループワークの発表も積極的に発表してくれました。



四国会 相原正

「2026年 高校生向け知的財産セミナー」愛媛県立小松高等学校

1. 日 時：2026年8月18日（火）9：00～11：00
2. 場 所：愛媛県立小松高等学校
3. 対 象：1学年 情報科学科 1クラス 33名
(出席：21名、部活動欠席：10名、通常欠席：2名)
4. 講 師：四国会 知的財産支援委員会 木村仁志
5. 内 容：
 - (1) 知的財産権の概要として、主に産業財産権である特許法、実用新案法、意匠法、商標法の特徴を説明するとともに、それらの具体例を示しつつ解説を行いました。
 - (2) Apple社の携帯電話に使用されている日本国内の商標「iPhone」は、愛知県名古屋市熱田区にあるアイホン（株）が有しており、Apple社はアイホン（株）から使用許諾を受け、その対価として毎年使用許諾料を支払いながら、商標「iPhone」を携帯電話に使用していることを説明しました。
 - (3) QRコードは、日本電装(株)（現（株）デンソー）の原昌宏氏を中心とした4名によって開発されたことともに、開発秘話も説明しました。また、QRコードの特許権は放棄されているため、QRコードは自由に使用できるものの、商標権は放棄しておらず、QRコードの使用に際しては、(株)デンソー（現（株）デンソーウェーブ）の登録商標である旨の記載が要求されていることを説明した。加えて、「フレームQR」、「rMQRコード(rectangular Micro QR Code)」、「マイクロQRコード」、「SQRC(Security QR Code)」の概要とともに、いずれも登録商標である旨も説明しました。併せて、「QRコード」は、ISO規格、JIS規格であり、「マイクロQRコード」は、JIS規格であることを説明しました。
 - (4) ワークショップでは、出席21名の生徒を3名又は4名の6つのグループに分け、グループ毎に架空の株式会社などを起業してもらいました。そして、グループ毎に①企業名、②事業内容、③ブランド、④ロゴマーク⑤イメージキャラクターなどを決定してもらい、グループ毎に上記①～⑤の決定内容を発表して頂くとともに、他のグループからのディベートを実施しました。

四国会 知的財産支援委員会 木村仁志

九州会

2026年 九州経済産業局こどもデー

1. 日 時：2026年8月7日（金）9：30～11：30
2. 場 所：福岡合同庁舎6階クリエイティブルーム
3. 対 象：8名（全参加者児童7名、保護者6名、内・児童4名 保護者4名）
4. 講 師：遠坂啓太
5. 内 容：

九州経済産業局では、小・中学生を対象に、当局の業務・施策を知っていただくことを目的とした広報事業として、局主催による「九州経済産業局こどもデー」を開催しています。

下記事業のプログラム③において、講師を行いました。

「プログラムテーマ1：「発明」」

- ①開会
- ②九州経済産業局の紹介等：15分
- ③発明工作授業「片手でもてるかな」：45分
- ④職場探検隊 10分
- ⑤閉会5分

発明工作授業の時間に、別テーマも開催されており、参加者は参加テーマを選択できました。発明工作授業には、前述のとおり全参加者の内、児童4名、保護者4名が参加されました。



セミナーの様子

委員 遠坂啓太

2

支援活動一覧表（9月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
北海道	26.09.16	高校生向け知的財産教室	内島裕	旭川農業高等学校	講演
青森	26.09.09	日本弁理士会特許商標無料相談会	三浦誠一	青森商工会議所	相談
岩手	26.09.02	日本弁理士会特許商標無料相談会	村雨圭介	奥州商工会議所	相談
	26.09.09	日本弁理士会特許商標無料相談会	東田潔	盛岡商工会議所	相談
	26.09.09	奥州市少年少女発明クラブでの知財授業	野崎俊剛 阿部博孝	奥州市水沢南地区センター 会議室	講演
宮城	26.09.09	日本弁理士会特許商標無料相談会	藤田正広	気仙沼商工会議所	相談
山形	26.09.09	日本弁理士会特許商標無料相談会	黒沼吉行	山形商工会議所	相談
福島	26.09.09	第 78 回郡山市発明工夫展審査会	水野博文	郡山市役所	その他
茨城	26.09.29	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	百武幸子	オンライン	講演
栃木	26.09.02	令和 8(2026) 年度 知的財産実務担当者研修会	須長英男 横川憲広	宇都宮大学陽東キャンパス 情報通信基盤センター	講演
	26.09.16	令和 8(2026) 年度 知的財産実務担当者研修会	高原千鶴子 宮崎悟	宇都宮大学陽東キャンパス情 報通信基盤センター	講演
群馬	26.09.16	ぐんま Tech EXPO 2026	群馬委員会委員	G メッセ群馬 展示ホール A・B	相談
	26.09.17	ぐんま Tech EXPO 2026	群馬委員会委員	G メッセ群馬 展示ホール A・B	相談
千葉	26.09.02	佐倉商工会議所相談員派遣	青井隆徳	佐倉商工会議所 2 階会議室	相談
	26.09.24	船橋商工会議所相談員派遣	佐藤高弘	船橋商工会議所 304 号室	相談
	26.09.24	千葉工業大学 講師推薦	浅井淳	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演
	26.09.29	2026 年度 弁理士による 特許無料相談会（東葛テクノプラザ）	矢上礼宣	東葛テクノプラザ相談室 1 階	相談
	26.09.30	令和 8 年度千葉県児童生徒・教職員 科学作品展への審査員推薦と表彰式の 賞状等の作成について	野村悟郎 金子彩子	千葉県総合教育センター	講演
東京	26.09.01	発明工作授業（江戸川区子ども未来館）	下地健一 高橋洋平	江戸川区子ども未来館	講演
	26.09.01	東京理科大学工学部工学科からの 非常勤講師派遣依頼について（回答）	吉田倫太郎		講演
	26.09.10	2026 年度東京商工会議所専門相談員	湊川喜和夫	東京商工会議所 中小企業相談センター	相談
	26.09.10	2026 年度知財無料相談会（町田）	高原千鶴子	町田新産業創造センター又は オンライン	相談
	26.09.11	品川区特許相談	須藤修三	品川区立中小企業センター	相談
	26.09.15	2026 年度多摩地域 無料知的財産相談会	後藤仁志	たましん事業支援センター (Win センター) 又はオンライン	相談
	26.09.15	2026 年度東京商工会議所文京支部 専門相談員	廣瀬勝夫	東京商工会議所文京支部	相談
	26.09.25	品川区特許相談	須藤修三	品川区立中小企業センター	相談
	26.09.26	第 31 回「暮らしと事業のよろず相談会」	東京委員会	新宿駅西口広場 イベントコーナー (新宿駅西口地下1階)	相談
神奈川	26.09.11	神奈川県立川崎図書館 2026 年度 知的財産相談事業	川嶋聡	神奈川県立川崎図書館 知財スポット	相談
	26.09.16	ロボット交流拠点「ロボリンク」での 無料相談会 相談員派遣	林郁夫	ロボリンク	相談
	26.09.25	神奈川県立川崎図書館 2026 年度知的財産相談事業	坂本靖	神奈川県立川崎図書館 知財スポット	相談

2. 支援活動一覧表（9月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
神奈川	26.09.30	横浜市立大学寄附講座 「知的財産マネジメント」	賀澤正宏	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
福井	26.09.15	第 38 回福井県発明くふう展・ 第 35 回福井県未来の科学の夢絵画展 審査会	中出朝夫	福井県工業技術センター	その他
山梨	26.09.08	2026 年度弁理士による 知的財産無料相談会（富士吉田）	土橋博司	富士吉田商工会議所 2 階会議室	相談
静岡	26.09.15	静岡県富士宮市立富士根北中学校に おける知財授業「著作権について」	吉田信彦	静岡県富士宮市立 富士根北中学校	講演
	26.09.25	週末パテントセミナー 2026in 静岡 (浜松会場)	鈴木和政 絹川将史	アクトシティ浜松 D ゾーン 研修交流センター 51 研修交流室	講演
	26.09.25	日本弁理士会東海会 「静岡県立田方農業高等学校における 出張授業」	東山裕樹	静岡県立田方農業高等学校	講演
	26.09.29	日本弁理士会東海会 「静岡県立田方農業高等学校における 出張授業」	宮崎篤嗣 東山裕樹 本田彩香	静岡県立田方農業高等学校	講演
愛知	26.09.19	休日パテントセミナー in 名古屋	知的財産権制度 推進委員	名古屋商工会議所 3F 第 5 会議室	講演
	26.09.19	田原市青少年少女発明クラブにおける 知的財産授業	伊藤正典 石原五郎	田原市青少年少女発明クラブ	講演
	26.09.24	愛知県立古知野高等学校 「知的財産授業」	丸山明夫	愛知県立古知野高等学校	講演
	26.09.25	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程－知的財産権入門－」	竹村恵一	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
滋賀	26.09.17	第 46 回滋賀県児童生徒発明くふう展・ 第 32 回滋賀県未来の科学の夢絵画展 審査会	三雲悟志	滋賀県 南部産業技術共創センター	その他
京都	26.09.09	知財基礎講座 2026 第 3 回「意匠入 門」	後利彦	オンライン	講演
	26.09.16	第 50 回京都府内小・中・高校創造性 コンクール 審査会	大西雅直	京都市青少年科学センター	その他
	26.09.22	知的財産特別授業	光明寺大道 牧野仁美	綾部市天文館	講演
大阪	26.09.10	知的財産特別授業	赤岡和夫 飯田淳也	堺市立浜寺小学校	講演
	26.09.11	MOBIO 知財セミナー（第 2 回） 「なぜあの会社は選ばれるのか？ ブランディングと商標のイロハ」	田中陽介	MOBIO 産学連携オフィス セミナールーム	講演
兵庫	26.09.23	令和 8 年度 「10 土業パーフェクト相談会」	東毅 石田祥二 藤井康雄 岩元浩司 川俣昭人 小林恵	神戸市中央区文化センター	相談
奈良	26.09.14	知的財産特別授業	村上太郎 鈴木武	奈良県立王寺工業高等学校	講演
広島	26.09.27	知的財産授業	有川智章 保坂幸男	広島市こども文化科学館	講演
宮崎	26.09.15	知的財産特別授業	前田健一	宮崎県立宮崎海洋高等学校	講演
	26.09.18	知的財産特別授業	渡辺健一 川口敬義 丹生哲治 園田康弘	宮崎市立久峰中学校	講演





第1回
片倉 等 弁理士



第2回
江口 裕之 弁理士



第3回
後 利彦 弁理士



第4回
正村 智彦 弁理士



第5回
拾井 美香 弁理士



知財基礎講座

オンライン

受講費
無料

「知的財産」は特別な企業だけの話だと思いませんか？

「うちの会社に知財は関係あるだろうか？」そう感じた方のための講座です！

こんなことを 考えたことはありませんか？

- ・知財って重要そうだけど、今は忙しいし何から手を付けていいのかわからない
- ・商品を真似されないようにするには？
- ・販売中の自社商品が、知財権侵害で訴えられることがあるって本当？
- ・今後は販路を広げたいけど、気を付けておくべき点を知りたい！

知財が必要かどうか
その答えがわかります

ここがポイント！

- ・知財エキスパートである5人の弁理士が講師を担当
- ・コンパクトな1時間のオンライン講習
- ・受講料はすべて無料
- ・難しい専門用語は使いません。身近な例を挙げて解説するので、初心者の方が安心して受講することができます

大好評につき今年も開催

対象者

京都府内在住

または勤務の方

※定員に満たない場合は、他府県の方もご受講いただけます



本講座は、超初心者向け
知的財産講座です

中小企業の経営者や知財担当者、個人事業主、大手企業の若手技術者など幅広い層へ
おすすめいたします

※時間はいずれも 15:30~16:30

令和 8 年

7 月 14 日 (火)

第1回 知財入門

知財は、“コスト”ではなく、“投資”です

8 月 19 日 (水)

第2回 特許・実用新案入門

“真”に事業に役立つ特許とは？

9 月 9 日 (水)

第3回 意匠入門

意匠を活かした選ばれる商品と会社づくり！

10 月 14 日 (水)

第4回 商標入門

京都で見つける「名前」と「信用」

11 月 11 日 (水)

第5回 著作権入門

ビジネスにおいて必要な著作権の基礎知識

全5回

共催

日本弁理士会関西会京都地区会、一般社団法人京都発明協会、
京都商工会議所、I N P I T 京都府知財総合支援窓口

後援

経済産業省
近畿経済産業局

【お問い合わせ先】 一般社団法人 京都発明協会

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
京都リサーチパーク内 京都府産業支援センター 2階 TEL:075-315-8686

京都発明協会を検索
京都発明協会



第1回 知財入門

弁理士

片倉 等

デジナール

知的財産事務所



知財は、「コスト」ではなく、
“投資”です

私はこれまで大手製造業で新規事業開発や知財の仕事に携わり、現在は弁理士として企業の“強み”づくりをお手伝いしています。この講座では、特許や商標だけでなく、技術・デザイン・ブランド・信頼・ノウハウといった「見えない資産」を会社の価値として捉え直します。これらは守り方や育て方しだいで将来の利益や成長につながる大切な財産です。知財は難しいものではなく、会社の未来を支える“投資”。その考え方や活かし方をわかりやすくお話しします。

第2回 特許入門

弁理士

江口 裕之

株式会社島津製作所



“真”に事業に役立つ特許とは？

特許は重要というがほんとうに事業に役立つのか？特許獲得（投資）をする上で極めて重要な疑問となりますが、実は特許を多数保有する大手企業でさえ明確な説明に悩むテーマです。“何が特許になる？”ではなく、“何を特許にする？”がこの疑問の答えに直結します。本講座ではこの点を中心に難しい話は一切抜きにし、大手企業で知財実務と管理に携わった演者が実例を交え“真”に事業に役立つ特許？をわかりやすく説明します。

第3回 意匠入門

弁理士

後 利彦

京都先端科学大学



意匠を活かした選ばれる商品と
会社づくり！

知財と聞くと「特許」を思い浮かべる方が多いかもしれません。しかし実は、身近な商品の形やパッケージだけでなく、工業部品や機器の形状などにも使えるのが「意匠」です。意匠は特許より費用を抑えやすく、権利期間も長いという特徴があり、特許ではカバーできない“見た目の価値”を守ることができます。本講座では、なぜその商品が選ばれるのか、なぜ真似されにくいのかを具体例で示しながら、意匠を通じて自社の強みを伝え、会社の価値を高める考え方をわかりやすく解説します。

第4回 商標入門

弁理士

正村 智彦 京都北山特許法律事務所



京都で見つける「名前」と「信用」

京都には、名前を聞くだけで「あの店」「あの商品」と分かるものや、ロゴを見るだけで店やブランドが伝わるものが数多くあります。本講座では、京都で見かけるさまざまな名前やロゴを取り上げながら、それらが人々の信用とどのように結び付いているのかを紹介するとともに、それらを守る手段である「商標」について、商標に初めて触れる方にもわかりやすく解説します。

第5回 著作権入門

弁理士・弁護士

拾井 美香 京都総合法律事務所



ビジネスにおいて必要な著作権の基礎知識

知的財産に関する相談、契約書作成、訴訟・交渉事件などのサポート業務を行っている弁護士・弁理士です。どのような行為が著作権侵害になるかを知らなければ、企業活動において大きなリスクになります。この講座では、著作権の基礎知識及び著作権侵害について説明した上で、Web、SNS、AIにおいて著作物を利用する場合の注意点を解説していきたいと思います。

形 式

オンラインセミナー（Zoom利用予定）



定 員

※京都府内に在住または勤務されている方が対象
他府県の方は、定員に満たない場合にご受講いただけます

50名（先着順・申込締切：各開催日の5日前）

受講料

無料（ご希望回のみ受講することも可能）

ご 注 意 点

- ・先着順受付です。申込締切日前であっても定員になり次第、申込を締め切ります。
- ・他府県の方のお申込で、定員オーバーのためにご受講いただけない場合は、開催1週間前までにメールにてご連絡いたします。
- ・開催日の数日前に、Zoom招待URLと講座資料データをメールでお送りします。
- ・ご不明な点は京都発明協会（075-315-8686）までお問い合わせください。

知財経営支援ネットワーク事業

令和5年3月に特許庁、INPIT、日本商工会議所、日本弁理士会の4者が「知財経営支援ネットワーク」構築を宣言し、令和6年12月には中小企業庁も加わりました。本講座は、関西地域での「知財経営支援ネットワーク事業」の一環として開催します。

お申込方法 <Web申込フォームからお申し込みください>



◀ 申込フォーム

講座の詳細は、
京都発明協会のHPで
ご確認いただけます。
（お申込も可能）

🔍 京都発明協会



京都発明協会HP内
知財基礎講座ページ

知財経営支援ネットワーク事業
日本弁理士会関西会

パテントセミナー 2026

参加費
無料

対象

どなたでも
ご参加可能
です。

今年も
オンラインと
リアル開催と
なります！



はっぴよん®
日本弁理士会
公式マスコットキャラクター

日本弁理士会関西会は、知的創造活動の普及と促進の一環として、一般の方々に広く知的財産権を理解していただけるよう弁理士等の専門家がわかりやすく説明する、知的財産権に関するセミナーを開催します。



申込ページ

オンラインセミナー (Zoomウェビナー) 定員:500名

10/2(金) 14:00~15:40 **中級編**
生成AIにより大きく変化する知財人の役割
講師: 弁理士 阿久津 好二

10/10(土) 10:00~11:40 **初級編**
ドキドキの外国特許出願 ~国際出願のイロハ~
講師: 弁理士 古茂田 道夫

10/10(土) 14:00~15:40 **初級~上級編**
知財担当者になったら、会社を強くするために
知っておきたい役割と視点
講師: 弁理士 後 利彦

11/21(土) 10:00~11:40 **中級編**
“日本流”が通じない海外商標の世界
~ブランド戦略と商標実務の国内外ギャップ~
講師: 弁理士 齊藤 整

11/21(土) 14:00~15:40 **初級編**
生成AIを活用した特許調査・分析
~誰でも簡単に今日から始める特許情報活用~
講師: 弁理士 角淵 由英

MAP ① 滋賀パテントセミナー (草津商工会議所) 定員:60名

10/17(土) 14:00~15:40 **初級編**
特許出願に向けた発明の創出法と
明細書チェックの基本
講師: 弁理士 服部 真典

MAP ② 兵庫パテントセミナー (スペースアルファ三宮) 定員:60名

10/24(土) 14:00~15:40 **中級編**
生成AI時代の著作権法 ~仮想事例を交えて~
講師: 弁理士 坂田 泰弘

MAP ③ 京都パテントセミナー (京都経済センター) 定員:80名

10/30(金) 14:00~15:40 **中級~上級編**
先使用・公然実施により自社製品を
守るための証拠化実務
講師: 弁護士・弁理士 三品 明生

MAP ④ 舞鶴パテントセミナー (舞鶴グランドホテル) 定員:60名

11/14(土) 14:00~15:40 **初級編**
地方だからこそ知っておきたい
会社の未来を守る知的財産活用術
講師: 弁理士 牧野 仁美

MAP ⑤ 大阪パテントセミナー (日本弁理士会関西会) 定員:140名

11/28(土) 14:00~15:40 **初級~中級編**
技術とビジネスをつなぐ特許価値評価:
経営判断に活かす知財戦略
~企業価値向上に貢献する知財の指標管理とは~
講師: 弁理士 片倉 等

主催: 日本弁理士会関西会

後援: 近畿経済産業局、
(独)工業所有権情報・研修館 近畿統括本部、
(独)中小企業基盤整備機構 近畿本部、
(公財)大阪産業局

パテントセミナー2026

- 対 象 どなたでもご参加可能です。
- 参 加 費 無料
- 申込方法 日本弁理士会関西会ホームページ(<https://www.kjpaa.jp/>)より
講座ごとに事前申込制。(先着順)
- 問い合わせ先
日本弁理士会関西会 事務局 TEL:06-6453-8200
<https://www.kjpaa.jp/>



申込ページ

※オンラインセミナーに関する技術的なお問合せには一切回答出来ません。

セミナーレベル
の説明

初級編

中級編

上級編

各法制度の基本知識がない

各法制度の基本知識がある

約5年以上の実務経験がある

オンラインセミナー

(Zoomウェビナー)

定員:500名

開催日時	テーマ・内容	講 師
10/2(金) 14:00～15:40	生成AIにより大きく変化する知財人の役割 中級編 従来、企業知財と特許事務所が連携して、アイデアを特許にしていたが、生成AIの活用によりプロセスが大きく変化しています。 島津製作所における生成AI活用の事例をもとに、今後の「知財人」の在り方を考えます。	弁理士 阿久津 好二
10/10(土) 10:00～11:40	ドキドキの外国特許出願 ～国際出願のイロハ～ 初級編 いまや製品販売は国内のみにとどまらずグローバルです。模倣品対策に海外への出願は必要? 費用は? など、疑問は尽きないと思います。初めて国際出願をする方がよく抱く疑問点を中心に国際出願の基礎を教えます。	弁理士 古茂田 道夫
10/10(土) 14:00～15:40	知財担当者になったら、会社を強くするために 知っておきたい役割と視点 初級～上級編 知財担当者は出願だけでよいのか? 企業価値にどう貢献するのか? 知財部長・取締役として経営者と伴走してきた講師が、これまで体系化されてこなかった役割と視点を初めて整理して語り、新人には指針を、実務者には仕事の軸を与えます!	弁理士 後 利彦
11/21(土) 10:00～11:40	“日本流”が通じない海外商標の世界 中級編 ～ブランド戦略と商標実務の国内外ギャップ～ 日本の感覚でブランドを構築し商標を採択すると、海外では思わぬ落とし穴が。出願費用や侵害リスクを下げるポイント、模倣品対策を意識した出願方法など、海外進出前に押さえておきたい商標の基礎をわかりやすく解説します。	弁理士 齊藤 整
11/21(土) 14:00～15:40	生成AIを活用した特許調査・分析 初級編 ～誰でも簡単に今日から始める特許情報活用～ 生成AIを活用した特許調査・分析について、初めての方でも理解できるように、調査の基礎から解説をして、プロンプトや実例を示しつつ、わかりやすくお伝えします。	弁理士 角淵 由英

MAP

① 滋賀パテントセミナー

(会場：草津商工会議所)

定員：60名

開催日時	テーマ・内容	講師
10/17(土) 14:00～15:40	特許出願に向けた発明の創出法と明細書チェックの基本 初級編 特許出願はハードルが高いと思われる技術者の方等を対象に、発明を創り出すための方法をいくつかご紹介します。 また、技術者の方が明細書のチェックを求められた場合における注意点についても解説します。	弁理士 服部 真典

MAP

② 兵庫パテントセミナー

(会場：スペースアルファ三宮)

定員：60名

開催日時	テーマ・内容	講師
10/24(土) 14:00～15:40	生成AI時代の著作権法 ～仮想事例を交えて～ 中級編 コンテンツをAIで簡単に生成できるようになった反面、他人の著作権を侵害したり自分の著作権が侵害されたりする可能性が高まりました。本セミナーでは、仮想事例を交えながら生成AIに関わる著作権法上の留意点を確認します。	弁理士 坂田 泰弘

MAP

③ 京都パテントセミナー

(会場：京都経済センター)

定員：80名

開催日時	テーマ・内容	講師
10/30(金) 14:00～15:40	先使用・公然実施により自社製品を守るための証拠化実務 中級～上級編 先使用权や公然実施を主張するために必要な証拠を整理するとともに、確定日付や事実実験公正証書などを利用した証拠化の具体的な方法について解説します。	弁護士・弁理士 三品 明生

MAP

④ 舞鶴パテントセミナー

(会場：舞鶴グランドホテル)

定員：60名

開催日時	テーマ・内容	講師
11/14(土) 14:00～15:40	地方だからこそ知っておきたい会社の未来を守る知的財産活用術 初級編 「地方だから特許は関係ない」と思っていませんか。地域で事業を営む皆様の実情をよく知る地方在住の弁理士が、商品・サービス名、デザイン、技術、ノウハウなど、身近な知的財産の活かし方を分かりやすくお伝えします。	弁理士 牧野 仁美

MAP

⑤ 大阪パテントセミナー

(会場：日本弁理士会関西会)

定員：140名

開催日時	テーマ・内容	講師
11/28(土) 14:00～15:40	技術とビジネスをつなぐ特許価値評価：経営判断に活かす知財戦略 初級～中級編 ～企業価値向上に貢献する知財の指標管理とは～ 特許価値評価には多様な視点があり、体系的な理解が欠かせません。本セミナーでは、基礎理論と無形資産活用の実例を踏まえ、知財を企業成長につなげる評価手法を実務視点で学びます。	弁理士 片倉 等

MAP ① 滋賀パテントセミナー会場 (草津商工会議所)



草津市大路
2丁目1-35
キラリエ草津1階



最寄駅

JR琵琶湖線「草津駅」より
徒歩5分

MAP ② 兵庫パテントセミナー会場 (スペースアルファ三宮)



神戸市中央区
三宮町1-9-1
三宮センター
プラザ東館6F



最寄駅

JR「三宮駅」、阪急阪神
「神戸三宮駅」より徒歩約5分
地下鉄・ポートライナー
「三宮駅」より徒歩約7分

MAP ③ 京都パテントセミナー会場 (京都経済センター)



京都市下京区
四条通室町東入
函谷鉾町78番地



最寄駅

京都市営地下鉄烏丸線
「四条駅」北改札出てすぐ
阪急電車京都線
「烏丸駅」26番出口直結

MAP ④ 舞鶴パテントセミナー会場 (舞鶴グランドホテル)



舞鶴市円満寺
124



最寄駅

JR舞鶴線「西舞鶴駅」より
徒歩1分

MAP ⑤ 大阪パテントセミナー会場 (日本弁理士会関西会)



大阪市北区梅田3-
3-20 明治安田生命
大阪梅田ビル25階



最寄駅

JR環状線・京都線・神戸線・おおさか
東線「大阪駅」より徒歩10分
大阪メトロ四つ橋線「西梅田駅」より
徒歩8分・御堂筋線「梅田駅」より
徒歩10分
阪神線「大阪梅田駅」より徒歩10分
※地下道からお越しの方は
OsakaGardenCity 番号「6-
30」を目印にお越しください

● **対 象** どなたでもご参加可能です。

● **参 加 費** 無料

● **申込方法** 日本弁理士会関西会ホームページ
(<https://www.kjpaa.jp/>)より
講座ごとに事前申込制。(先着順)

● **問い合わせ先**

日本弁理士会関西会 事務局

TEL:06-6453-8200

<https://www.kjpaa.jp/>

※オンラインセミナーに関する技術的な
お問合せには一切回答出来ません。



申込ページ

《会場でのセミナーにおける注意事項》

- お申込み後は、直接会場にお越しください。●定員となり次第、締め切らせていただきますのでご了承願います。●会場へのお問い合わせはご遠慮ください。
- 地震、台風等の自然災害が発生した場合には、予告なく開催を中止することがございます。

《オンラインセミナーにおける注意事項》

- 本セミナーの録画、録音等は禁止します。
- 本セミナーの参加には、受講者の責任において、参加に必要なコンピュータ、利用環境、通信機器、通信回線その他設備を保持し、設定および管理するものとします。
- 本セミナーは、Zoomウェビナーを利用してインターネットで配信するため、ご利用されるデバイス、インターネットの通信状況等により、参加できない場合があります。その場合、主催者は責任を負いません。
- 本セミナーの動画や音声等すべての知的財産権は講演者とその所属先及び当会に帰属します。
- 私的利用など一定の範囲以外の目的で著作権者の許諾を得ずに複製、公衆送信等を行うことは著作権法などの法律により著作権侵害や著作隣接権侵害などの違法行為となります。
- 本セミナーで利用するウェブサービス(Zoomサービス等)の規約に違反する行為は禁止いたします。

《個人情報の取り扱いについて》

ご登録いただいた個人情報は日本弁理士会の個人情報保護方針(<https://www.jpaa.or.jp/privacy/>)に基づき、適切に管理いたします。

●個人情報(個人データ)の利用目的

お申込みの際にご登録いただいた個人情報は、本イベントの申込管理や運営、本イベントに関する通知、連絡及び統計資料管理のために利用させていただきます。

なお、法令に定める場合を除き、これら以外の目的のための利用または第三者提供はいたしません。

常設知的財産相談室(無料)

※すべて予約制です。

東海会



052-211-3110

URL : <https://www.jpaa-tokai.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 13:00～16:00

北海道会



011-736-9331

URL : <https://jpaa-hokkaido.jp/>

相談時間 :

毎週火曜日・金曜日 / 14:00～16:00

関西会



06-6453-8200

URL : <https://www.kjpaa.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 10:00～12:00、
14:00～16:00

東北会



022-215-5477

URL : <https://www.jpaa-tohoku.jp/>

相談時間 : 毎週火曜日 / 13:00～16:00

中国会



082-224-3944

URL : <https://www.jpaa-chugoku.jp/>

相談時間 : 毎週水曜日 / 13:00～15:00

北陸会



076-266-0617

URL : <https://www.jpaa-hokuriku.jp/>

相談時間 :

※相談日はホームページをご覧ください。

四国会



087-822-9310

URL : <https://jpaa-shikoku.jp/>

相談時間 :

※相談日はホームページをご覧ください。

関東会



03-3519-2707

URL : <https://www.jpaa-kanto.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 10:00～12:00、
14:00～16:00

九州会



092-415-1139

URL : <https://www.jpaa-kyusyu.jp/>

相談時間 : 毎週木曜日 / 10:00～12:00、
13:00～15:00

中小企業の知財を活かして成長を支援します！

【弁理士知財キャラバン】のご紹介

知財を経営に活かすコンサルティングスキルをもった弁理士が最大3回訪問して、共に課題を解決し業績アップを目指します。

●Point !

- ・費用は無料(日本弁理士会が負担します)。
- ・これまで150社以上の中小企業に対して支援を実施しています。



詳細はコチラ▶



問い合わせ先: 日本弁理士会 弁理士知財キャラバン 担当
E-mail: caravan@jpaa.or.jp

<https://www.jpaa.or.jp/activity/caravan>

お問い合わせやご送付先に変更がございました場合には 日本弁理士会 経営・支援室まで

電話 : 03-3519-2709 (直) FAX : 03-3519-2706

MAIL : shien@jpaa.or.jp

URL : https://www.jpaa.or.jp/support_activity/